

広報 おなづまち

1971-10

人口の動き

出生数	28
死亡数	58
転入数	4,806
転出数	19,102
増減	9,010
男	9,010
女	10,092

秋いよいよ深まる

10月10日 体育の日



第八回大津町九月定例会は九月十六日招集され、会期を二十三日まで八日間と決定議案七件、決算承認七件を上程議決案四件が議員提案され、陳情五件町長より議案の説明があり、質疑後全議案委員会に付託され散会、議案の審議に当つては各委員慎重

員会慎重

に審議す

十三日委

員長報告

全議案原

案通り可

決決議さ

れた。

日程及び

要旨

九月十六

日本会議

(午前十

時開決)

会期決定

議案上程

及び説明

質疑委

員付託

散会

九月十七

日建設委

員会前

十時開会

経済委員

会午後一

時開会

九月十八

日総務文

第8回 大津町議会定例会

昭和46年度一般会計補正予算他13議案上程

決算特別委員会開会 午前十一時

特別会計決算の審議認定

九月二十一日九月二十二日

一般会計決算の審議認定

九月二十三日 本会議 十時開議

各委員長報告 一般質問 議案の上

程 審議 採決 陳情の取扱い

閉会

案件内容の要旨

△大津町教育委員会の任命

平田秋彦氏の任期満了により平田氏

の再任する同意の提案がなされ同意

に決定。

△大津町職員定数条例の一部改正

本件は役場事務の増加に伴い教育委

員会事務局職員二名を町長事務局

職員に繰入れるもの。

改正

△大津町一般会計補正予算

本件の貸付金の限度が四万一千六十

円を一四万円七千円に改正

△大津町一般会計補正予算

総額は六億二千二百四十千円と

なり補正の主なもの、

○登記所改修費として百二十万円

○関係村負担金、菊陽町三十六万

三千元、西原村十七万一千円、長

陽村十万六千円大津町五十六万円

○都市計画用地図作成委託料六十万

円

○公害測定機 五万円

○機業振興費二百六十三万五千円

○畜産事業費二十万四千円

○一般農道費三十万円

○林業費(林道改修)七十二万九千円

○町道調査費十四万円

○道路改良費百二十万円(下町出分

線中島西通線)

○住宅用地購入費 五百六十七万七

千円下陣内、上町町営住宅売却代

五百六十七万七千円にて用地購入

○大林公民館工事費十万円

○上陣内公民館への補助四十万円

(空港関連事業費として追加)

△大津町国民健康保険特別会計補正予

算

一千二百三十四万八千円の追加で

予算総額は一億八千五百九十九万六千

円となり補正の主なもの

○積立金七百万円

○償還金三百五十四万八千円

△大津町住宅改修資金特別会計補正予

算

十九万七千円の追加で予算総額二百

三万円となり補正の主なもの

○事業費二十二万二千円

○公債費減額五万六千円

同和部落内の住宅改修資金として貸

付するもの

△大津町水道事業会計補正予算

建設改良費二百六十万円で補正の主

なもの

○配水設備工事費として西線団地及

び国道バイパス

○平川水道配水工事のためポリリン

ダ水利権購入費百万円(平川土地

改良区所有)

決 算 認 定

△一般会計

△国民健康保険特別会計○直営診療所

△住宅改修資金貸付特別会計

△アールド・ザ特別会計

△交通興害共済特別会計

△大津町外五ヶ町村共有財産特別会計

△大津町水道事業

の決算認定を行った。

決 議 書

国鉄豊線線の合理化反対決議

広域農業総合開発事業促進に関する決

議

日中国交回復に関する決議

大津町北部地区の電話の区域内変更に

関する決議

陳 情 書

町区西通り線工事費増額について

教委員会 午前十時開会
九月十九日 休会
九月二十日 本会議 十時開議
決算承認議案上程 説明
決算特別委員会設置及び委員の選任
議案の付託 散会

○町区尾の上り下町官前農道の町道
編入について

○上猿渡線の舗装について

○傷病思給増額に関する意見書提出
について請願

○農業委員視察研修旅費について

以上五件採択執行部へ送付と決定

各種委員会の概要

○建設委員会

補正予算土木費について(主なもの)
質 住宅売却後の外燈及び道路の管理
について質問

答 外燈は区にて団地内道路は団地内
で、団地入口取付道は町が管理

原案通り承認決定

○水道事業会計

原案通り承認決定

△陳情書 三件

1.町区西通り線工事費増額について質
疑が行なはれ議決からも執行部によ

請があり既決予算内で施行する旨答
弁あり

2.町道編入

採択され、他各部落に同様編入道あ
るため三月定例会に一括提出

3.上猿渡線舗装

全委員管理状況について質疑す。
施行については執行部に一任

△経済委員会 十三時開会

内容について課長より説明あり、特
に農地費一般農道の負担金補助とし
て百三十万円計上されているが施行
ヶ所については委員会で質問があり
一覽表が配布された。

今後はこの様な事については委員長
に相談するべきだと強い要望あり
現地調査は今後執行部に於いて善処
すると云う事であれば説明に止め承
認する事に決定。審議の結果原案通
り承認

△総務文教委員会 十時開会

条例の審議が終了補正予算について
総務課長説明

特に部落内の外燈維持費補助二十一
万円について二時間審議された結果
計画は年間二百万円を部落に補助す
ると云う事だがアンバランスになる
理由により外燈管理は部落の責任

料金支払は町が実費支払をする事に
決定。引続き付託議案の審議がなさ
れ午後二時全議案原案通り承認決定
された。付託議案は五議案である。
△決算特別委員会は三日間開かれ全決
算書共原案通り承認決定された。

菊池郡町村議員ソフトボール大会

菊池郡町村議会議員親善ソフトボ
ール第二回大会が九月二十四日、泗水申
にて開催され七ヶ町村議会が参加大津
町議会チームは善戦むなし第三位と
なりました。

努力した。

昭和45年度決算のあらまし

△国土調査 六、一三九千円

昭和四十四年度より開始した国土調査
も四十五年度は平川地区の五、〇五五
の調査を計画通り完了した。

△造林事業 七、四三二千円

例年造林計画に基づいて町有財産の造成
に努めているが四十五年度に於ける造
林及び諸手入に要した費用は、新植二
五ha二、〇二八千円、保育五〇〇ha四
、七九二千円補植三〇〇ha四八五千円
の他一六千円を投資し、長期健全財
政の確立に努めた。

△商工振興費 一五、一九六千円

工場誘致ポリーング 一、九三二千円
商工会助成 一、五〇〇千円工場誘致事
業九、三九五千円店舗改装利子補給一
、九九八千円その他振興助成三八〇千

昭和45年度、大津町の一般会計及び
特別会計の決算は9月の定例町議会に
おいて認定を致しましたのでその概要
をお知らせします。

▽積立金の増成 三四、三五〇千円

財政調整基金 一四、三五〇千円、土地
開発基金 二〇、〇〇〇千円の積立を行
ない、将来の事業に対する経営資金そ
の他の特殊な財政の健全なる運営を図
ることとした。

▽農業構造改善事業 二四、二四二千円

昭和四十三年より三ヶ年目標で計画さ
れた最終年度の構造改善事業は、集団
農園造成事業九、一七四、九三二

円、経営近代化事業一八、一三三千円
換地その他一、一八六千円となり、計
画どおり完了し、近代農業の基礎づく
りに努めた。

▽農業振興及び畜産振興事業

三八、一三三千円
農業振興施策として、養蚕、果樹、茶
業等の特殊作物の振興育成併せて畜
産振興、農道整備、病虫防除等に努
めた。畑灌漑事業二、六六四千円こが
ね虫防除二、七八〇千円家畜導入補助
二、四七五千円農道改良補助五、四四
四千円、空港関連農道建設事業三、一
一五〇千円、畑地帯のポリーング一、
六〇〇千円等を投資し、振興と整備に

円等の支出をもって商工振興に努めた

▽道路橋梁費 五一、四〇五千元

道路維持費四、六〇二千元

新設改良費三四、二七九千元 橋梁新設改良費一、四三二千元等の投資をもつて町道の維持及び新設改良に傾注すると共に、県道についても一、〇九二千元の負担金を納入し、舗装をするなど、道路の整備に努力した。

▽住宅建設費 一九、四二五千元

住宅建設計画に基いて、立石団地第一種住宅一八戸を建設し、住宅難の解消につとめた結果現在の公営住宅戸数は四五八戸となった。

▽消防費 四、五五八千元

動力ポンプ五台購入二、一六五千元 ホリスその他九一六千円防火水槽六八七千円火の見櫓、消火栓その他七九〇千円等を投じ消火施設の充実に努めた

△教育費 一〇、七一六千元

大津小校区の児童生徒の体育増進のため大津小プール建設九、三八六千円にて建設し、社会教育施設面では、公民

館の改築補助等一、三三〇千円を投じ施設の充実に努めた。

▽災害復旧費 七、四一七千元

農林施設災害復旧費八件三、一八六千元 公共土木災害復旧費七件四、二三一千元等をもって被害ヶ所の復旧に努めた。

以上が昭和四十五年度中に実施した一般会計の主なる事業である。尚各会計別の決算の状況は別表の通りである。

一般会計性質別歳出入内訳 (単位千円)

区 分	決 算 額	比 率
人 件 費	169,618	30.2%
物 件 費	66,560	11.8
建 設 事 業 費	189,310	33.7
積 立 金	34,350	6.0
その他の経費	102,927	18.3
合 計	562,765	100.0

歳 入 款	予 算 額	収 入 済 額
1.国民健康保険税	50,467	51,253
2.使用料及手数料	30	42
3.国庫支出金	96,014	105,474
4.県庫支出金	46	47
5.財産収入	459	537
6.繰入金	464	464
7.繰越入金	18,361	18,361
8.諸収入	1,147	2,027
歳入合計	166,988	178,205

歳 出 款	予 算 額	支 出 済 額
1.総務費	8,410	7,678
2.保険給付費	144,558	135,815
3.保健施設費	2,576	2,477
4.基金積立金	2,700	2,700
5.諸支出金	2,487	2,478
6.予算額	6,257	0
歳出合計	166,988	151,148

歳入歳出差引残額27,057千円は翌年度へ繰越

国保特別会計(事業勘定)

(単位千円)

款	予 算 額	収 入 済 額
1.町税	106,105	107,712
2.自動車取得税	4,000	6,363
3.地方交付金	253,457	253,898
4.交通安全対策金	250	195
5.交付金及び金庫	10,264	9,584
6.負担金	13,339	13,339
7.手数料	39,965	39,043
8.収入金	84,790	84,744
9.財産収入	2,750	4,096
10.寄附金	2,210	2,692
11.繰入金	951	951
12.繰越金	31,393	31,393
13.諸収入	5,781	8,408
14.町債	30,600	30,600
歳入合計	585,855	593,779
款	予 算 額	支 出 済 額
1.議会費	14,509	14,414
2.総務費	118,103	116,869
3.民生費	62,052	61,308
4.衛生費	19,566	17,572
5.労働費	381	373
6.農林水産業費	112,319	105,820
7.商工費	17,980	17,784
8.土木費	90,772	90,107
9.消防費	10,305	10,061
10.教育費	85,920	84,048
11.災害復旧費	7,461	7,417
12.公債費	37,932	36,992
13.予備費	8,555	0
歳出合計	585,855	562,765

歳入歳出差引残額三三、〇一四千円は翌年度へ繰越

一般会計歳入歳出内訳表 (単位千円)

歳 入

歳 出 (単位千円)

—(5)—

朝、平素よりすこし早く起きて外へ出て見ました。裏
大倉が少し聞いて居り子供の自転車がないので、孫が自
転車で運動にでも行ったかと思つていたら、そのうちに自
転車にたぐくさんの彼岸花をつんで帰つてきました。
学校でもつて行くのかとききましたら「今日は敬老の日
でしよう、これはわたしが、おばあちゃんへ、これは兄
ちゃんがおじいちゃんへ」と花把をくれまして「おじい

敬老 …… 一把の彼岸花

ちゃんも、おばあちゃんも、いつまでも長生きして下さい
」と申しました。たぐく一把の彼岸花でも心のこもつ
た贈り物に、尚一層うれしさを感しました。これも
要するに学校の先生のご指導の賜ではないでしょうか。どう
か、先生へ厚くお礼申し上げますと、二人の孫にあり
りがたく感謝せすにはいりませんでした。
私事だけでなく、町全体がかく有りたのであります

灰塚 矢野広喜 八十才

大津町五ヶ町村共有財産管理
事務特別会計

歳入 (単位千円)		
款	予算額	収入済額
1.財産収入	1,370	1,530
2.諸収入	68	86
3.繰越金	520	521
歳入合計	1,958	2,137
歳出 (単位千円)		
款	予算額	支出済額
1.総務費	1,535	1,498
2.子備費	423	0
歳出合計	1,958	1,498

歳入歳出差引残額639千円は翌年度へ繰越

<県民体育祭に31名活躍>

十月二、三日八代
郡市で開催された
県民体育祭に、大
津町より三十一名
の男女が出場し、
善戦した。
特に水泳では北里
西本の両氏が五〇
一〇〇自由で優勝
バスケット外子
ム種目も殆んど準
決勝まで進出した

陸上 千綿光子 新藤周
一、江原梅夫、齊藤公俊、中村秀樹、
樋口陽一、卓球 竹永憲章、村上利行
山西由紀代、藤本たつよ、市原久美子
麻生浩子、藤球 坂本恵一郎、岩村勝
利、バドミントン 坂本喜代子
剣道 西島洋一、水泳 北里武一、西
本信也、ソフト 合志幸雄、西本和子
桐原世、桐原美津代、小西芳美恵、
宇都宮けさみ、藤本君代、高本みすず
宮崎英子、緒方もと子、大田黒つ子

ブルドーザ特別会計

歳入 (単位千円)		
款	予算額	収入済額
1.使用料及手数料	2,588	1,598
2.財産収入	10	1
3.繰入金	442	415
4.繰越金	100	96
5.諸収入	70	46
歳入合計	3,210	2,156

歳出 (単位千円)		
款	予算額	支出済額
1.ブルドーザ費	2,606	1,944
2.公債費	30	0
3.子備費	574	0
歳出合計	3,210	1,944

歳入歳出差引残額212千円は翌年度繰越

住宅改修貸付資金特別会計

歳入 (単位千円)		
款	予算額	収入済額
1.国庫支出金	417	417
2.町債	1,200	1,200
3.繰入金	85	85
4.繰越金	18	17
5.償還入金	132	131
6.諸収入	1	0
歳入合計	1,853	1,850

歳出 (単位千円)		
款	予算額	支出済額
1.総務費	70	61
2.事業費	1,628	1,628
3.公債費	155	59
歳出合計	1,853	1,748

歳入歳出差引残額102千円は翌年度へ繰越

直診勘定

歳入 (単位千円)		
款	予算額	収入済額
1.事業収入	9,018	10,370
2.使用料及手数料	8	15
3.財産収入	1	0
4.繰入金	1,845	1,846
5.繰越金	1,077	1,077
6.諸収入	26	49
歳入合計	11,975	13,357

歳出 (単位千円)		
款	予算額	支出済額
1.総務費	6,924	6,579
2.医業費	4,250	4,200
3.施設整備費	122	120
4.公債費	110	108
5.子備費	569	0
歳出合計	11,975	11,007

歳入歳出差引残額2,350千円は翌年度繰越

交通災害共済特別会計

歳入 (単位千円)		
款	予算額	収入済額
1.交通災害共済費	2,263	2,151
2.繰越金	400	880
3.諸収入	31	35
歳入合計	2,694	3,066

歳出 (単位千円)		
款	予算額	支出済額
1.総務費	2,617	2,264
2.子備費	77	0
歳出合計	2,694	2,264

歳入歳出差引残額802千円は翌年度繰越

優良家畜購入に補助金が出ます

子牛種豚連合品評会行わる

譲渡所得に対する各税のあらまし

長期譲渡所得

九月現在

昨年度に引続き優良家畜の購入について補助を致します。この制度は大津町の畜産振興の上から乳牛、和牛の資質の向上と畜産振興の基盤を確立するためのものであり、期間内購入牛について申し出があれば補助検査の上補助金を交付致しますので希望者は左記の点留意の上申し込んで下さい。

- 一、対象家畜 乳牛、肉用和牛
- 二、申込期限 昭和47年1月31日まで
- 三、資 格
 - (イ)乳牛、昭和47年1月31日現在で生後36ヶ月未満で血統登録牛以上のもの
 - (ロ)和牛、昭和47年1月31日現在で生後36ヶ月未満で一級登録牛
- 四、申込方法 血統書及び印鑑持参の上本人が直接役場経済課へ

米の生産調整に伴う農地転用の申請

昭和四十六年度米生産調整をされたもののうち特別転作として養魚池又は養魚生産に必要な施設(畜舎、養魚舎、養魚池等)に転用した方は、農地法により農地転用の許可を受け、又はその申請をしなければ、特別転作として認められることはできませんので、次により申請をされるよう御知らせします。尚、期限までに農地転用の申請をしなかった方は、休耕として処理しますから念のため申し添えます。申請場所 大津町農業委員会事務局申請期限 昭和46年10月30日まで持参品 印鑑、土地登記簿抄本

東肥畜産組合主催の子牛、種豚連合品評会が九月一日東肥畜協において開催され子牛雌六頭、雄十二頭、種豚十七頭が出品され次の方々が入賞しました。

- 子牛雌の部
 - 優勝 えい号 平川 古庄 明
 - 優等 橋本哲行 藤林三善 古庄 明
- 種豚の部
 - 優勝 重藤号 瀬田 木村 親
 - 優等 片又、村山国広

- 尚熊本市畜産共進会が十月七日から九日まで熊本市健軍の旧飛行場跡地で開催され左記の方々が大津町より出品されました
- 肉牛 帆後義信 二頭
- 種雄牛 伊原 亘
- 種豚 村山国広、村山栄、坂本一弘
- 肉豚 江藤社一
- 乳牛 今村一誠、古庄延寿

要コンサルテーション

県の本年度高原地帯開発コンサルテーション(農産部)は九月十七日講師に茨城県果振興会長兵藤保氏を大津町に迎え、大林の木村氏栗園の現地調査と講演会が大津農協会議室で開催されました。会場には県内各地の栗生産者が押しかけ講演に引続き長時間に亘る質疑があり特に土壌づくり、風害対策など栗栽培に対する基本的な問題とよりあげられて今後の町栗振興の上に大きな収穫がありました。

戦没者叙勲

- 戦没者氏名 遺族名
- 瑞八 高松守 高松千晴 室
- 旭八 松丸弘 山内忠近 大津

種別	譲渡所得	必要経費	特別控除	差引残額	税率	額
所得税	1,500,000	75,000	1,000,000	425,000	10%	42,500
県民税	1,500,000	75,000	1,000,000	425,000	1.3%	5,520
町民税	1,500,000	75,000	1,000,000	425,000	2.7%	11,470
保険税	1,500,000	75,000	0	1,425,000	1.96%	27,930

土地取用法の適用の場合は特別控除は12,000,000円とす



行政管理庁長官表彰
行政相談委員 山本 隆志氏

行政相談業務に多大な功績をあげられ、行政管理庁長官表彰をうけられました。

特に、合志委員は、全国四九名の被表彰者を代表して答辞を述べることになっております。

今月の行政相談

十月二十日 役員会議室 十時～三時
十月三十日 老人憩の家 十時～三時
相談は無料です。

大型赤電話からの

市外通話とは

受話器をとり通話だけの料金を一〇円玉で入れます。(六枚まで入ります)
市外局番―市内局番―加入者番号の順にダイヤルしてください。
通話中に「ピット」という音(請求音)が出たら、すぐ追加の一〇円玉を入れてください。
通話が終わって受話器をかけると、残りの一〇円玉は返却口にもどります。
市内通話は一〇円一枚でかけられます
一〇番(警察) 一一九(火事救急車) は赤色の緊急呼出器を回して下さい
番号案内(一〇四番、一〇五番) 故障調べ(一一三番)などのときは、一〇円玉一枚でかけられます。通話が終わって受話器をかけた一〇円玉は返却口にもどります。
「使用停止」の表示がでているときでも一〇番一一九番は緊急呼出器でかけられます。
天津電報電話局

住みよい社会をつくる郵便貯金

月間にご協力を

みなさんのおそばで、いつもたかなくらしのお手つだいをしている郵便貯金は年々順調な増加を続けるその貯金額は八兆円をこえる巨額に達しております。

郵便貯金は財政投融资の 主要な資金源です。

この貯金は国の財政投融资の一環として運用されみなさまのくらしに関係の深い住宅建設の促進、公害の防止、生活環境施設の整備、農林漁業や中小企業の近代化、文教施設の拡充、道路・港湾・鉄道の建設など社会資本の充実にたいへん役立っていますが、当天津町でも多額の融資を受けております。

金に活用されています。

郵便貯金の働きと奨励運動

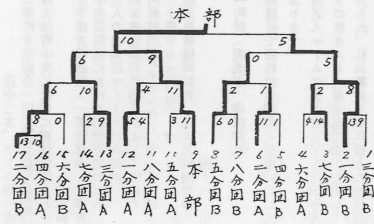
豊かなくらしをつくり、明るい社会を築いていくためには、財政投融资の大きな資金源である郵便貯金の働きがいそう重要になってきています。

このような情勢から郵政省では関係機関の協力を得て「住みよい社会をつくる郵便貯金奨励運動」を十月一日から三十一日まで全国で行ないます。

この運動は郵便貯金が資金運用の面でゆたかな国づくり町づくりに大きな役割を果していることをお知らせして、郵便貯金に対するみなさんのご理解とご支援をお願いします。 天津郵便局

消防団ソフトボール大会

九月五日 大津中、大津高グラウンドに於て各分団より二チーム、本部一チーム計七チームが参加して、町長旗、議長杯争奪第一回ソフトボール大会が盛大に行なわれました。



消費者コーナー
このマークなら
安心してす

皆様がお買物なさるとき、是非知っておきたいことはなんでしょうか
①何を使っているか
②どんなふうにして作っているか
③誰れが、何時、何処で?
④自方は?お値段は?
JASの品は、いつもこれにお答えしています。JASが表示事項をきめていからです。しかも「間違いないません」と保証しているのがJASなのです。消費者保護のためが必要と思われる加工食品や建材の種類毎に原材料の品質、処理の方法など一定の基準を設けて規格化したものが日本農林規格で、国の厳重な監督を受けている検査機関が、この規格にもとづいて検査して合格したものに、つけるしるしがJASというわけです。



善意

- 一、〇〇〇円 室 今村常雄殿
- 一、〇〇〇円 室 大塚樹也殿
- 一、〇〇〇円 岩坂 坂本石身殿
- 一、〇〇〇円 森 宮崎恭一殿
- 二、〇〇〇円 岩坂 岡本隆雄殿

社協一般香附金

香典返し

- 一〇、〇〇〇円 上町 木本礼子殿
- 一〇、〇〇〇円 亡母スミエ殿
- 一〇、〇〇〇円 駅通 本田シズエ殿
- 一五、〇〇〇円 亡叔母洵上フジエ殿
- 一五、〇〇〇円 中陣内 江藤 登殿
- 外に五、〇〇〇円 中陣内老人クラブへ
- 一〇、〇〇〇円 高尾野 矢野 厚殿
- 外に五、〇〇〇円 高尾野老人クラブへ
- 五、〇〇〇円 片平 富士川八重殿
- 古希祝として
- 一、〇〇〇円 上鷗 平野彦太郎殿
- 老人福祉のため
- 五、〇〇〇円 生長の家大津相愛会

善意銀行

預託 現金口座

- 一、〇〇〇円 本町一丁目子ども会
- 一、〇〇〇円 上鷗三丁目

地藏祭養銭の内から社会福祉のため

老人憩の家休湯日
 定例休湯日 毎週月曜日
 休湯 十五日頃まで

心配ごと相談

場所 大津町社会福祉協議会
 毎週火曜日 十時～三時

老人ホーム慰問

- 大林上村義勝様 トントン豆腐一〇〇個
- 中学通一月尾セイチ子、片平江藤光子様
- 玉ネギ外野菜、三〇、八K
- 一町民(匿名)五〇〇〇円
- 知事沢田一精様 三、五〇〇円
- 菊池郡社会福祉協議会様 二、五〇〇円
- 専売社大津出張所長様
- 篠原義信商店様 七K
- 室石原義清様、カボチャ一七K
- 室横田博様 ココア一七二本
- 前田町いなだひとみ様 三〇〇〇円
- 室石原義信商店様 タオル二〇〇本
- 上鷗中村商店様 菜一七K
- 陣内福本政義様、間引菜一三K
- 室経方計助様 サイアヒ七十二本
- 仲町家入セツ様 一、〇〇〇円
- 森、森章雄外三〇名様お菓予五十四袋

雑誌一〇〇冊、演芸多数
 陣内福本政義様、白菜四〇K
 本町かむろ食堂清水タマエ様

今月の日曜在宅医

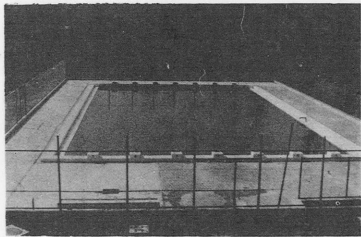
- 10月10日 梅美医院(2100) 兼島医院(2340)
- 10月17日 野上医院(菊陽2079) 馬場医院(2358)
- 10月24日 馬場(豪)医院(2803) 大塚医院(2149) 西村医院(2010) 竹田津医院(2521)
- 10月31日 鈴木医院(菊陽2051) 福田病院(2771) 中村医院(2016) 樋口医院(2415)

本家ならお会いいたし直接お礼申上げ
 るべきですが、何分にも匿名での御送
 金で住所も氏名も分らないため本紙を
 かりて、あなたの御厚意に感謝し厚く
 御礼申上げます。
 お身体を大切にお願いします。よろ
 しくお祈りいたします。
 大津町老人ホーム 園長 門岡美次

オギヤール献金

- 一、〇〇〇円 直木 剛殿
- 吉良 剛殿

東小に待望のプール



九月十日に落成式を挙行いたしました後、東小に待望のプールは、横一五メートル、縦二十五メートル、総工費五六七万円、総二十万の大変立派なものです。

東小学校では、鉄筋二階建の堂々たる校舎に引き続き、素晴らしプールが出来あがって、児童生徒、職員、父兄、校区民の喜びも一おです。

特に子どもたちにとって、一番楽しい一番よい運動である水泳が今まで出来なかつただけに、その喜びは大したもの、少くくらの寒さといわず、毎日はいしゃまわって泳いでいます。

東小、菊阿中の職員も今後はこのプールを十分生かして水泳指導をし、子どもたちの体力づくり役に役立てるとともに、立派な選手の間を育てたいと大いに張切っています。

東小学校では待望のプールを建設中でしたが、この程完成し、町長以下各関係者、来賓、児童代表等参列のもとに

尚この施設は簡易生命保険預立金の還元融資をうけて建設されたものです。

社協創立二十周年記念大会

あたたかい人間愛で明るい町づくりを目指して



大津町社会福祉協議会では創立二十周年記念大会と老人福祉大会を兼ね九月十九日大津小学校講堂で開いた。

大津保育園児、大津中学校ブラスバンド、アトラクションのあと式典に入り坂本専美会長の二十周年の事業経過やアンケートの結果発表と「あたたかい人間愛で、明朗な町づくりをやりましょう」と挨拶がありついで表彰式、大会宣言後熊本老人クラブ連合会副会長伊半田直敏先生の「現代老人と社会福祉」についての講演があり閉会、ぼつてん荒川劇団の「肥後わか」を演じた。参会者七〇名

なお大津地区婦人会では別室で盛大なバザーを開き日用品の即売による売上

金を社協に寄贈し本大会に協力された表彰をうけた方

引水老人クラブ 花一杯運動 努力奉仕など、昭和三十五年クラブ発足以来活発な運営を行っている。
山根千喜氏 長年にわたり老人クラブ副会長、連合会長、保護司として地域社会の福祉問題のよき相談役として福祉の向上に活躍している。

東ちよみさん
病身の母を助け心身障害の姉の介護につとめながら勉学に精励している
児島又久氏、久子氏
血縁のない盲目のねたつきり老人を昭和三十五年以来扶養し医療と介護に献身的努力をつくしつづつある。

三原朝子、依子氏
十有余年にわたりねたつきりの父親と病身の母親を扶養し医療と介護に献身的努力をなされた。
坂井 学氏 自作の幕を公民館福祉等公衆施設にしばしば贈り又神社やバス停留所にツツジ其の他庭園樹を植樹し環境の美化につとめた。

今村 万氏 民生委員児童委員として活躍しながら数回にわたり季節節保育所老人クラブなどの援助を借しまず地域福祉の向上に貢献した。

大会宣言

我国経済の高度成長にともない生活水準もまた向上した、而しながら社会保障については逐次改善されつつありといえども先進国に比ぶまだおくれいている現状である。困窮世帯、心身障害者老人の生活の安定など、福祉対策の解決に迫られている問題は枚挙にいとまがない。

このときあたりわれ町民はお互に暖い人間愛で結ばれ明朗な社会環境をつくり福祉の増進について当局の施策に期待し、より高度な福祉の町の建設を期す。右宣言する。